算数科　単元デザインシート		
単元名	学年	３学年
計算の仕方を工夫しよう	児童数	２０名
	授業者	板矢　健志

１　単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
・数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して，暗算の仕方について理解する。 ・被減数が 100 の減法の暗算，2 位数どうしの加法，減法を暗算で計算することができる。	・数の柔軟な見方を基に，暗算による計算の仕方を工夫して考え，表現することができる。	・暗算のよさに気付き，生活や学習に用いようとする。

２　単元における「学習課題」と「期待する子どもの姿」

【単元の学習課題】

暗算の仕方を理解し，日常生活で活用しよう。

【期待する子どもの姿】

・被減数が 100 の減法について，暗算の仕方を考え，暗算ができるようになるとともに，100 に対する感覚を豊かにする。

・2 位数どうしの加法及び減法を暗算でできるようになるとともに，数感覚を磨く。

３　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
見通しをもつ 課題の解決に対する目的意識を明確にもっている。 ・単元の学習課題を意識できるよう，確認しながら進める。 興味や関心を高める 課題の解決に向けた自分の思いや願いをもち，進んで解決しようとしている。 ・ゲーム的な要素を加えるなど，挑戦意欲や知的好奇心が湧くように活動内容を工夫する。	協働して課題解決する 課題を解決するために，多様な考えをもつ他者に関わろうとしている。 ・目的に合った小集団の設定及び交流方法の工夫をする。 多様な手段で説明する 自分の学びについて，他者に伝えることができる。 ・多様な他者との交流をもてるような場を設定する。	知識・技能を活用する 学習成果を別の場面で生かしたり，他の解決方法を試したりしている。 ・模擬買い物体験を行ったり，運動会の競技の得点を計算したりして，実社会や実生活とのつながりを意識し，活用できるようにする。 ・多様な計算方法から自分にとってやりやすい計算方法を選択できるように進める。